

道路関係の評価項目調書

道路建設事業の再評価項目調書

事業名		一般国道9号 名和・淀江道路		事業主体	中国地方整備局
所在地		とっとり さいはく だいせんちょうしもいち とっとり さいはく だいせんちょうやすはら 鳥取県西伯郡大山町下市～鳥取県西伯郡大山町安原			
事業概要		一般国道9号は京都市から下関市に至る延長約645kmの主要な幹線道路である。名和・淀江道路は、国道9号の交通混雑の緩和、安全・円滑な交通の確保のほか、事故・災害時におけるリダンダンシーの確保などを目的とした、延長約12.1kmの道路である。			
事業採択年度		平成8年度（平成10年3月都市計画決定）			
総事業費		約 531億円	既投資額	平成17年度末まで 約 217億円（進捗率41%）	
再評価の視点	事業の必要性に関する点	ア)事業をめぐる社会情勢等の変化 当該路線に並行する国道9号は、鳥取県の東西方向唯一の幹線道路であるが、通過交通と生活交通が混在し、交通事故が多発しているほか、沿道環境の悪化が懸念されている。当該地域の通勤流動については鳥取県西部へ位置する米子市に大半が依存しており、朝夕ピーク時には今津交差点付近において交通渋滞が発生している。 （事業化後の周辺開発） H10.3 山陰道 米子道路全線暫定供用 H13.3 山陰道 安来道路全線暫定供用 H17.3 旧米子市・旧淀江町合併 H17.3 旧中山町・旧名和町・旧大山町合併 H18.4 山陰道 米子道路（淀江大山IC～米子東IC）無料化			
		イ)費用便益分析(平成18年度価値換算による）（残事業）事業全体			
		本事業に要する費用(総費用)		本事業による効果(総便益)	
		■ 事業費 総事業費 1 (287) 531億円 現在価値事業費 2 (205) 486億円 ■ 維持管理費 (57) 57億円 ■ 残存価値 3 (5) 5億円 総費用（C） + - = (257) 539億円 1：既に登録されている当事業に必要な費用。 2：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの。 3：評価対象期間末時点で、当該事業に残っている価値。		■ 走行時間 短縮便益 (2,294) 2,294億円 ■ 走行経費 減少便益 (211) 211億円 ■ 交通事故 減少便益 (62) 62億円 総便益（B） + + = (2,568) 2,568億円	
		評価対象期間 = 整備期間 + 40年			
		（残事業）事業全体 費用便益分析の結果 今回評価 B / C = (10.0) 4.8 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。			
		「費用便益分析マニュアル(案)による」 （H15.8.1付け国都街第39号、国道分評第15号通達）			

事業名		一般国道9号 名和・淀江道路	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	ウ)事業の効果 円滑なモビリティの確保 ・・・現道部の主要渋滞ポイントである今津交差点の渋滞緩和が見込まれる。 物流効率化の支援 ・・・大山町から中国横断自動車道米子ICへのアクセス向上が見込まれる。 安全で安心できる暮らしの確保 ・・・三次医療施設である鳥取大学付属病院へのアクセス向上が見込まれる。 地球環境の保全、生活環境の改善・保全 ・・・CO ₂ 、NO _x 、SPM排出量の低減が見込まれる。 CO ₂ (7%削減)、NO _x (8%削減)、SPM(13%削減) 個性ある地域の形成 ・・・大山や皆生温泉など主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる。 その他 ・・・地域連携プロジェクトを支援(鳥取県中海圏域地方拠点都市地域)		
		エ)事業の進捗状況 1.主な経緯 平成8年度 事業化(名和～淀江大山) 平成10年3月 都市計画決定 平成10年度 用地着手(名和～淀江大山) 平成13年度 工事着手(名和～淀江大山) 平成18年度 工区延伸(下市～名和) 2.事業の進捗状況 ○工事の進捗状況 [名和～淀江大山間] 平成19年度の供用を目指し事業を進めている。 なお、平成17年度末までの工事進捗率は約79%である。 [下市～名和間] 今年度より、現地測量を実施し、道路設計を行う予定。 ○用地補償の状況 [名和～淀江大山間] 進捗率100%(平成17年度完了) 面積ベース [下市～名和間] 進捗率 0%(平成17年度末) 面積ベース		

事業名		一般国道 9 号 なわ 名和・ よどえ 淀江道路	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業進捗の見込み	・用地の進捗見込み 平成 18 年度は下市～名和間について設計協議を実施し、平成 19 年度より用地買収予定。 ・工事の進捗見込み 平成 18 年度は名和～淀江大山間について、平成 19 年度の供用を目指し工事を進めている。		
	コスト縮減や代替案の可能性	・施工にあたり、新工法（海浜海岸耐候性鋼材の使用や P C コンボ橋の採用等）の導入や、淀江大山 I C において I C 形状をトランペット型からダイヤモンド型に変更するなどコスト縮減を図った。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、今後もコスト縮減に努めることとしている。 ・また、 の視点による再評価により代替案を検討する必要はないと考えている。		
今後の対応方針		・事業継続 今後、平成 19 年度に名和～淀江大山間について、供用を目指し事業を進める。また、残る区間についても早期の完成を目指し引き続き事業を推進する。		

客観的評価指標

- ※ データ上の制約がない限り、基本的に全ての項目について評価を実施するものとする。
ただし、評価に必要な作業量が大きく、当該事業による効果は少ないことが予想される場合、
評価実施主体が当該事業について評価対象外とすべきと判断した項目については、評価を
実施しなくてもよいものとする。
- ※ 網掛けの指標は定量的な記述により効果の確認を行うことを基本とする。
- ※ その他の指標は定性的に効果の有無を確認する。
- ※ 本指標に基づき効果を総合的に評価する必要がある。その手法については今後策定

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		一般国道 (二次改築)	根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	B/C=4. 8(全事業) B/C=10. 0(残事業)
	事業実施環境 (新規事業採択時)	□ ルート確定済	
		□ 円滑な事業執行の環境が整っている	
	事業実施環境 (新規着工準備採択時)	□ 都市計画手続等、環境影響評価の手続等の着手に必要な調査が完了している	

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		一般国道 (二次改築)	根拠
大項目	中項目		
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	現道の年間渋滞損失が削減 ・ 損失時間 未整備： 9,256千人・時間／年 整備： 5,539千人・時間／年 ・ 損失時間削減率：約 40%
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	鳥取-福岡線について現在国道9号からの転換が見込まれる。(1便/日)
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	東伯郡琴浦町からJR米子駅へのアクセス向上が見込まれる(53分⇒ 40分) ※整備無および整備有における所要時間は国道9号バイパスが全て整備された条件で、山陰道は規制速度(V=80km/h)、そのほかはH17センサス混雑時旅行速度を用いて算出
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	東伯郡琴浦町から米子空港へのアクセス向上が見込まれる(73分⇒62分) ※整備無および整備有における所要時間は国道9号バイパスが全て整備された条件で、山陰道は規制速度(V=80km/h)、そのほかはH17センサス混雑時旅行速度を用いて算出
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	西伯郡大山町名和地区から重要港湾境港へのアクセス向上が見込まれる(53分⇒51分) ※整備無および整備有における所要時間は国道9号バイパスが全て整備された条件で、山陰道は規制速度(V=80km/h)、そのほかはH17センサス混雑時旅行速度を用いて算出
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	東伯郡琴浦町特産の乳業及び西伯郡大山町特産農産品の流通利便性向上が見込まれる。
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	

政策目標		一般国道 (二次改築)	根拠
大項目	中項目		
1. 活力	都市の再生	☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
		☐ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		☐ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	☒ 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけあり	山陰自動車道と並行する自専道
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合に限る)	
		☒ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	西伯郡大山町と米子市を最短で連絡
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☒ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	東伯郡琴浦町と米子市へのアクセス向上が見込まれる(55分⇒42分) ※整備無および整備有における所要時間は国道9号バイパスが全て整備された条件で、山陰道は規制速度(V=80km/h)、そのほかはH17センサス混雑時旅行速度を用いて算出
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☒ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	鳥取県中海圏域地方拠点都市地域
		☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	皆生温泉や大山などへのアクセスの向上が見込まれる。
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		☐ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	東伯郡琴浦町～国立鳥取大学付属病院 約13分短縮

政策目標		一般国道 (二次改築)	根拠
大項目	中項目		
3. 安全	安全な生活 環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備 え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	第一次緊急輸送道路に位置づけ
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	山陰自動車道と並行する自専道
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4. 環境	地球環境の 保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量： 30千t/年 （将来整備有無での削減量）
	生活環境の 改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	自動車からのNOx排出量が約8%削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	自動車からのSPM排出量が約13%削減
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	（西伯郡大山町御来屋地区） [現況]72.9db→[整備後]64.8db
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクト	■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	山陰道 東伯・中山道路
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	鳥取県道路整備VISION
	その他	□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	